

## 第3回 第2波対策検討ワーキング 議事要旨

日 時：令和2年6月26日（金曜日）11時00分～12時00分（web会議）

出席者：（専門家）猪口委員、具委員、齋藤委員、関谷委員

（関係行政機関）高橋新宿区保健所長

（東京都）梶原副知事、矢内福祉保健局技監、岩瀬福祉保健局理事、

野間福祉保健局理事、矢沢医療政策部長、成田保健政策部長、

吉田感染症危機管理担当部長、杉下新型コロナウイルス感染症対策担当部長

### 1 第2波に備えた検査・医療体制の構築について

#### 【感染症への組織対応力の強化】

- ・第1波の課題分析として、保健所から都への情報の流れだけではなく保健所間での情報共有の不統一・不十分などがあつたと思われるため、連携強化は重要。加えて、保健所自体の臨時的な機能強化も必要
- ・リスクコミュニケーションを構想に入れてもよいかもしれない。DHEAT<sup>1</sup>を災害対策のみならず感染症対策でも活用した方がよい
- ・都と関係機関との内外での機能の役割分担を明確にする必要がある

#### 【検査体制の拡充】

- ・医療機関に検査機器を置くのは賛成。第1波のときは、疑い患者を判定できないが故に二次救急が大混乱した。コロナの東京ルール<sup>2</sup>に参画している医療機関において、二次医療圏や区市の中などの単位で複数個所、また夜間含めて検査できる体制を整備するとよい
- ・疑い患者を個室からリリースするのに4日程度かかる。地域救急医療センター等に検査機器を導入することも検討すべき

#### 【医療提供体制の拡充】

- ・社会福祉施設で患者が発生した場合に施設でもある程度対応できるようにすべき
- ・福祉施設でアウトブレイクが起きたときのカウンターパートへのアプローチを平時に決めておくとよい
- ・院内・施設内感染の早期探知、どういう時にアウトブレイクとみなすかなど、診断機能のサポートも必要
- ・DMAT<sup>3</sup>について災害だけではなく、感染症管理の強化・指示系統の整理も必要

---

<sup>1</sup> 災害時健康危機管理支援チーム

<sup>2</sup> 救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

<sup>3</sup> 災害派遣医療チーム